日本青年会議所 会員様向け

組織改革・拡大サポートのご案内

ACHIEVEMENT®

アチーブメントは賛助企業として
日本青年会議所の組織改革、組織拡大を
サポートさせていただいております。

私たちは「人」を切り口とした、
本質的な組織変革をサポートします。

組織は人の集まりです。
所属する一人ひとりが成長することで組織も発展していきます。
組織がその『理念』から一貫して事業目的を遂げるためには、
必要とされる優秀な人材を『採用』『育成』するとともに、
働く一人ひとりが充実して活動することのできる
仕組みや環境を整えていくことが求められます。

「人」という側面からトップ層が理想とする組織の実現をサポートします。



事業案内



東京本社　有明セントラルタワー



大阪支社・大阪研修センター



東京研修センター





社　　名:	アチーブメント株式会社	拠　　点:	東京本社・大阪支社・福岡支社 名古屋支社・横浜支社・熊本支店
代 表 者:	青木仁志	関連会社:	アチーブメント出版株式会社 アチーブメントHRソリューションズ株式会社
設　　立:	1987年10月		
資 本 金:	5,000万円		
従 業 員:	277名（グループ連結従業員数・2025年4月時点）		

一般社団法人 日本経済団体連合会（経団連）に入会いたしました



アチーブメント株式会社は2019年4月1日付で、一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）に入会いたしました。「総合経済団体として、企業と企業を支える個人や地域の活力を引き出し、日本経済の自律的な発展と国民生活の向上に寄与すること」という使命を持つ経団連の活動へ参加することで、「縁ある人々を物心両面の幸福に導ける指導者の輩出」をますます推進するとともに、経団連が主導する政策提言活動や社会貢献活動に積極的に参加してまいります。

創業者･プログラム開発者について

創業者・プログラム開発者　挨拶



光陰矢の如しで、私が日本青年会議所を卒業して 28年の歳月が流れました。教育部会において第７代部会長を務めさせていただき、素晴らしい諸先輩方や仲間に啓発されながら活動に打ち込み、研鑽をつめたことは大きな宝物になりました。若き日に出会った友人とは良い関係を続けており、共に活動した元 文部科学大臣の下村博文氏とは共著『志の力』を出版することもできました。



1987年にアチーブメントを創業し、縁ある人を物心共に豊かな人生に導いていく理想の人材教育を追求して今日を迎えています。JC活動をする上で、もっとも大切なことは「指導力開発」であると考えています。皆さんに私自身が培ってきた能力開発、人材育成のエッセンスを少しでも提供できれば、これに勝る喜びはありません。皆さんの成功と幸せを祈っています。



アチーブメント株式会社 代表取締役会長 兼 社長
アチーブメントグループ CEO
公益財団法人 青木仁志啓育財団 理事長

青木仁志（あおき さとし）

北海道函館市生まれ。若くしてプロセールスの世界で腕を磨き、トップセールスマン、トップマネジャーとして数々の賞を受賞。その後に能力開発トレーニング会社を経て、1987年、32歳で選択理論心理学を基礎理論としたアチーブメント株式会社を設立。会社設立以来、50万名以上の人財育成と、8,000名を超える中小企業経営者教育に従事している。2010年から３年間、法政大学大学院政策創造研究科客員教授として教鞭を執り、「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」の審査委員を７年間歴任。2023年１月より東京商工会議所における教育･人材育成委員会の副委員長、中小企業委員会の委員、イノベーション･スタートアップ委員会の委員を務める。

講演実績



法政大学大学院政策創造研究科
客員教授（2010年～2013年）



上海の復旦大学日本研究センター
客員研究員に就任（2017年）



公益社団法人日本青年会議所
サマーコンファレンス2018

書籍紹介



著書は68冊、解題５冊。うち11冊が海外でも翻訳刊行

企業実績

「働きがいのある会社」ランキング10年連続ベストカンパニー選出

2025年版「働きがいのある会社」ランキングにて中規模部門で第１位を受賞！

アチーブメント株式会社は、
2025年版「働きがいのある会社」ランキング
中規模部門にて第1位、2016年より10年連続で
ベストカンパニーに選出され、
女性ランキングでも第2位にランクインいたしました。





アチーブメントグループは創業当初より「実力主義」を掲げ、性別、年齢、学歴、国籍において差別やひいきのない平等な人事制度を運用しています。

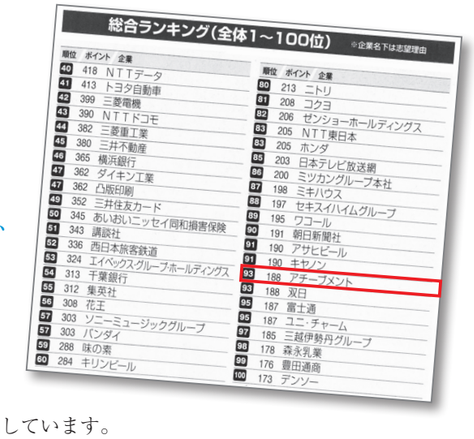
※「働きがいのある会社ランキング」とは、GreatPlaceToWork® Institute Japanが実施する世界最大級の従業員意識調査・分析の企業ランキングです。従業員意識調査を基に「働きがいのある会社」の調査が行われ、選出企業は優良企業として、グローバルで高い評価を得ています。

就職希望企業ランキング第93位

2014年卒対象・日本経済新聞社調べ

就職希望企業ランキング第93位

業種別ランキングの「サービス業・その他」で13位、
社員数300名以下の中小企業の中では最高位
(2013年2月27日／日本経済新聞朝刊第2部　新卒広告特集)



総合ランキング（全体1～100位）　※企業名下は志望理由

順位	ポイント	企業
40	418	NTTデータ
41	413	トヨタ自動車
42	399	三菱電機
43	390	NTTドコモ
44	382	三菱重工業
45	380	三井不動産
46	365	横浜銀行
47	362	ダイキン工業
47	362	凸版印刷
49	352	三井住友カード
50	345	あいおいニッセイ同和損害保険
51	343	講談社
52	336	西日本旅客鉄道
53	324	エイベックス・グループ・ホールディングス
54	313	千葉銀行
55	312	集英社
56	308	花王
57	303	ソニーミュージックグループ
57	303	バンダイ
59	288	味の素
60	284	キリンビール
80	213	ニトリ
81	208	コクヨ
82	206	ゼンショーホールディングス
83	205	NTT東日本
83	205	ホンダ
85	203	日本テレビ放送網
86	200	ミツカングループ本社
87	198	ミキハウス
88	197	セキスイハイムグループ
89	195	ワコール
90	191	朝日新聞社
91	190	アサヒビール
91	190	キヤノン
93	188	アチーブメント
93	188	双日
95	187	富士通
95	187	ユニ・チャーム
97	185	三越伊勢丹グループ
98	178	森永乳業
99	176	豊田通商
100	173	デンソー

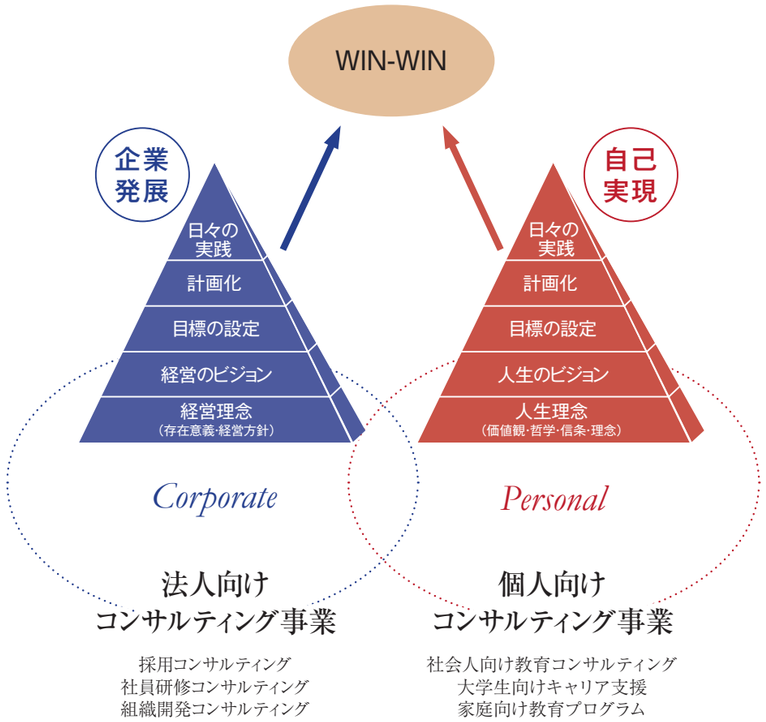
アチーブメントは2005年度から新卒採用を始め、
新卒採用開始わずか２年で１万名のエントリーを獲得。
厳選された優秀な人材が入社し、大きな成長をつくり出しています。

『就活生におすすめのインターンシップ先企業ランキング！』３年連続第１位

（2020年卒、2019年卒、2018年卒対象、キャリアパーク調べ）

組織は、個人の集合体です。

だからこそ
私たちは「個人の指導力開発」と
「組織づくり」どちらも大切だと考えます。



個人の目標達成力の向上が
その人が所属する組織である、
「家族」「職場」「地域」「社会」の発展につながります。

5つの基本的欲求を満たすサービスを提供

アチーブメント出版株式会社

実績ある人物のまだ世の中に知られていない
本物のノウハウを広めます。



http://www.achibook.co.jp/

アチーブメントHRソリューションズ株式会社

達成型組織へと変革する3つの
人事コンサルティングサービスを提供いたします。



https://achievement-hrs.co.jp/

その他　支援活動



公益財団法人School Aid Japanを通じて
カンボジアに中学校と幼稚園の校舎を寄贈
（2018年中学校、2019年幼稚園）



全日本F3選手権の冠スポンサー
（2011年～2013年）



花巻東高等学校 立志夢実現教育支援
（2019年～）



トップアスリートの目標達成支援
（2010年～）

受講生紹介・講演会開催実績

弊社の受講生紹介

※記載の肩書は2023年4月時点



SBCメディカルグループ
代表
相川 佳之 様



2023年 WBC侍ジャパン
ヘッドコーチ
白井 一幸 様



元プロ野球指導者
尾花 髙夫 様

講演会開催実績

※記載の肩書は講演会当時



2011年7月27日
株式会社PHP研究所
取締役経営理念研究本部長
佐藤 悌二郎 氏
※肩書は講演当時



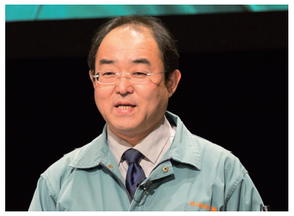
2011年12月12日
元法政大学大学院
政策創造研究科教授
坂本 光司 氏



2017年11月3日
徳洲会体操クラブ 監督
2004オリンピック体操男子団体優勝
米田 功 氏



2018年3月21日
元内閣総理大臣
小泉 純一郎 氏



2018年3月21日
株式会社植松電機
代表取締役
植松 努 氏



2018年5月16日
元文部科学大臣
下村 博文 氏

企業向け研修実績

BRIDGESTONE
国土交通省
国土交通大学校
TOTO
avex group
NOMURA 野村グループ
Benesse
ひとの ときを、 想う。 JT
VABLE
東京商工会議所 The Tokyo Chamber of Commerce and Industry
OBAYASHI
ORIX オリックス・リビング株式会社
近畿日本ツーリスト

日本青年会議所様向け サポート実績

2018年7月以降、全国各地にて 講演会を開催させていただいております。

500以上のブロック協議会、青年会議所にて開催 ※2024年4月時点
累計10,000名以上のJC会員様にご参加いただきました。

ブロック協議会（順不同）

東京ブロック	兵庫ブロック	埼玉ブロック	福岡ブロック
神奈川ブロック	岡山ブロック	鹿児島ブロック	岩手ブロック
山梨ブロック	大阪ブロック	宮城ブロック	北海道ブロック

※その他多数あり

青年会議所（順不同）

JCI 桐生	JCI 宇和島	JCI 鹿島	JCI 千葉
JCI 旭川	JCI 熊本	JCI 日立	JCI 草加
JCI 瀬戸	JCI 山城	JCI 伊勢原	JCI 古河
JCI 新潟	JCI 宝塚	JCI 都留	JCI 春日部
JCI 小田原	JCI 酒田	JCI 江津	JCI 多治見
JCI 東大阪	JCI 大和	JCI 佐久	JCI 立川
JCI 水戸	JCI かしま	JCI 狭山	JCI 瑞浪
JCI 香住	JCI 郡山	JCI 相模原	JCI 越谷
JCI 茅ヶ崎	JCI 山口	JCI 久喜	JCI 常滑
JCI 名古屋	JCI 柳川	JCI 津山	JCI 八王子
JCI 高槻	JCI 豊岡	JCI 八戸	JCI 津久井
JCI 千歳	JCI 桶川	JCI 鎌倉	JCI 堺高石

※その他多数あり











講演実績事例

講演事例



アチーブメントは、協賛企業として日本青年会議所のサポートをさせていただいておりますが、資金提供のみならず、弊社が38年以上に渡ってお伝えしてきた組織変革・組織拡大のノウハウもご提供しております。主に各ブロック、LOMを対象に、「組織力」「営業力」「育成力」などのテーマで講演会を開催させていただいております。対象となる組織によって、課題や目指す目標は異なります。事前にヒアリングをさせていただいた上で、最適な学習の機会をご提案させていただいています。

講演実績　歴代会頭と弊社代表青木とのコラボ講演会



2020年6月23日（火）

with コロナ社会における
経営人材のあり方とは

第69代会頭 **石田 全史様** × **代表青木**



2021年4月7日(水)

with コロナ社会に求められる
リーダーシップ

第70代会頭 **野並 晃様** × **代表青木**



2022年3月26日(土)

Leader's Action フォーラム 理念共感拡大における
リーダーの役割

第71代会頭 **中島 土様** × **代表青木**

主催	講演テーマ
理念共感拡大会議	理念共感プロモーター育成研修
東北地区協議会	理念浸透拡大パワーセッション
東京ブロック協議会	サプライズプレゼント羽ばたきの時「組織強化セミナー」
新潟ブロック協議会	逆境をチャンスに変えるリーダー
石川ブロック協議会	組織を巻き込むリーダーに求められる伝達力
岩手ブロック協議会	組織力強化セミナー
京丹後青年会議所	モチベーションマネジメント
新見青年会議所	逆境に打ち勝つ販売力
北上青年会議所	人が育つ組織のつくり方
志摩青年会議所	「目標達成の技術」～目的達成のプロセス
大分青年会議所	組織の未来を切り開く目標達成の技術
府中青年会議所	拡大セミナー
相模原青年会議所	まちを巻き込むリーダーシップ
船橋青年会議所	あなたは何のために JC をやりますか？

※その他多数あり

セミナーのご要望は右記QRコードよりお問い合わせください。

本書の印税は、公益社団法人日本青年会議所に寄付いたします。











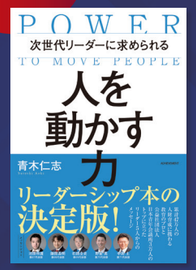


累計**50万**名の人材育成に携わる**教育のプロ**と
公益社団法人日本青年会議所**3万**人のトップに立った**リーダー5名**による

リーダーシップ本の決定版

好評発売中

三省堂書店池袋本店ビジネス書週間ランキング 第1位
（2023年7月8日㈯～14日㈮）



次世代リーダーに求められる
人を動かす力
［著者］青木 仁志

Webショップで購入可能！

［価格］1,760円(税込)

何が正しい答えなのか、誰も知らない。そんな不確実な時代に、リーダーはどうあるべきか。
未来を拓くリーダーシップ、すなわち「人を動かす力」を体得するためのヒントを、
累計47万名の人材育成に携わる教育のプロと、日本青年会議所の歴代会頭5名が語り尽くした一冊。

その他サポート・連携企画



『サマーコンファレンス2018』
次世代教育フォーラムにて青木仁志が講師を担当



『We Believe』2018年9月号、『Forbes JAPAN』に池田歴代会頭、下村博文氏との鼎談記事を掲載いただきました



『We Believe』2022年3月号に石田歴代会頭、野並直前会頭、中島会頭、下村博文氏との鼎談記事を掲載いただきました。

一般財団法人日本プロスピーカー協会(JPSA)での取り組み

JPSA 青年の志部会

JPSA青年の志部会は、青年会議所の現役会員又はOBOG会員を中心に、社会的・国家的・国際的な責任を自覚し、志を同じくする者が相集い、力を合わせ指導者としての英知と勇気と情熱をもって活動する団体です。JCの経験を実績につなげるために修練(トレーニング)・奉仕(自己成長と他者貢献)・友情(パワーパートナー)を軸に相互研鑽をするコミュニティです。

部会長



株式会社宮﨑電気商会
代表取締役社長
一般社団法人福岡青年会議所 OB
2003年度 みらい福岡50 特別委員長
宮﨑 勝徳

副部会長



株式会社エリナ山口販売店 代表
一般社団法人萩青年会議所 OB
2001年度 日本JC 規則拡大委員会
運営監事
2005年度 萩JC会員拡大会議 議長
金子 聖司

副部会長



株式会社BPP 代表取締役
一般社団法人横浜青年会議所 OB
2011年度 横浜開港祭総務委員会
総括監事
くぬぎ 貴則



株式会社豆子郎 代表取締役社長
一般社団法人山口青年会議所 OG
山口JC 第52代理事長
2011年度 菓子部会部 会長
2011年度 業種別部会 副議長
田原 文栄

所属認定プロスピーカー 一覧

株式会社ヴィサージュ 代表取締役
2002年度 福岡JC 副理事長
竹内 康順
JCI 福岡

有限会社耕雲商事 代表取締役
三方五湖JC 第44代理事長
国川 晃
JCI 三方五湖

株式会社ムラタ　代表取締役
八王子JC 第55理事長
村田 晃一
JCI 八王子

株式会社 VenusStyle
代表取締役
芳川 恵子
JCI 藤沢

このような方におすすめ

- JC活動で成果を出したい現役会員
- JCでの活動を本業に活かしたいOBOG
- JCには所属していないが地域での影響力を高めたい指導者

部会で学べること

- LOM を一枚岩組織にする理念浸透法
- JC と社業の成果を両立する時間管理術
- メンバーの主体性を引き出すマネジメント

定例会の概要

開催時間：毎月月曜日 1 回以上の定例会開催　　開催方法：オンライン
参 加 費 ：無料　※イベントにより別途料金が発生する場合もございます
参加方法：右記 QR コードより LINE のお友達登録をお願いいたします。
　　随時、定例会のご案内を配信させていただきます。
内　容　：JC 現役会員 /OBOG 会員が自らの体験を通してどのように成果を
　　出したのかを分かち合う勉強会を随時開催

LINEQRコードは
こちら

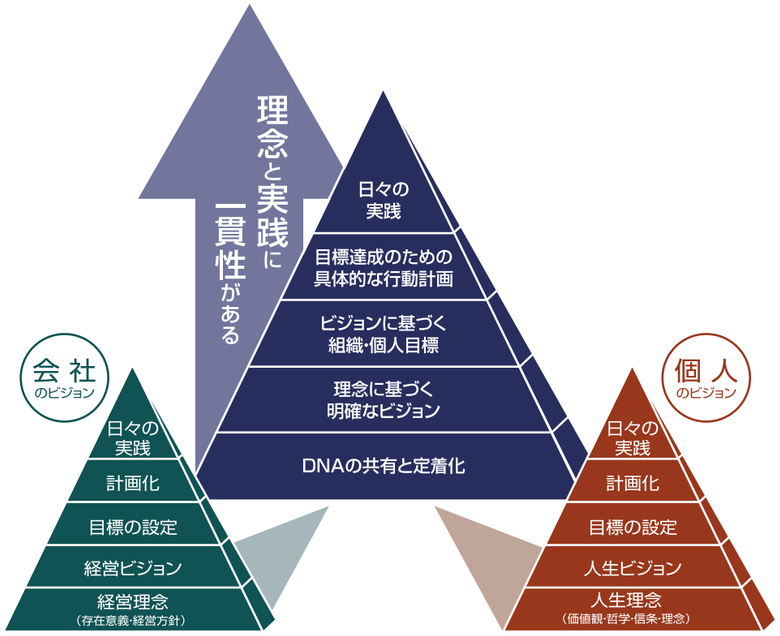
一般財団法人日本プロスピーカー協会に関する詳細は右記 QR コードより

理念浸透型組織のつくり方

理念経営とは

経済活動や利益追求だけに焦点を当てるのではなく、
会社の存在理由や目的に焦点を当て、
その達成を目指す経営手法です。

企業の発展と、働く社員一人ひとりの
自己実現を重ね合わせることで強い組織体を実現します。



多くの組織が陥る
理念浸透の落とし穴

□社員はいつもクレドを持ち歩いている
□オフィスには「企業理念」が掲示されている
□朝礼で毎朝理念の唱和をしている

これらを実施しているのに
理念に基づいた行動や意思決定が定着しない。



なぜでしょうか？

言語化 ➡ ??? ➡ 仕組化

多くの組織は、理念を言葉にしたら
すぐに仕組みつくりに着手します。

しかし、
理念浸透には本当は
3つのステップが必要なのです。

多くの組織で実践される
効果的ではないコミュニケーション

人が離れる組織の考え方

□人は「刺激」を与えれば、動く
□より強い刺激を与えれば、よりよく動く



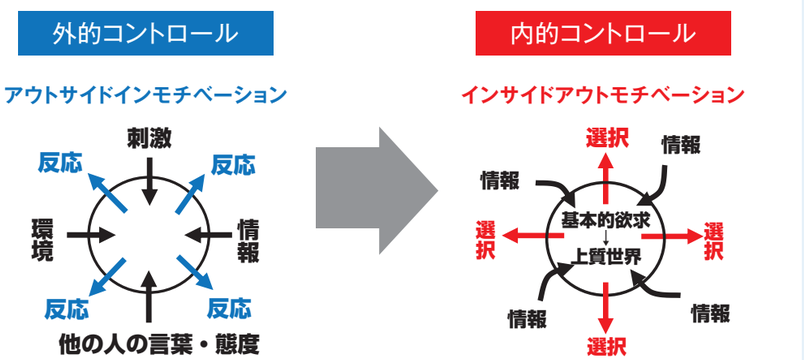
人が動く「本当の理由」？

人が集まる組織の考え方

□人は誰もが、「欲求」を満たすために生きている
□相手を直接変えることはできない

つまり、嫌なことからは「回避」しようとし、
望むものを得ようと行動します。

人の行動のメカニズムを体系化した「選択理論心理学」



選択理論は、アメリカの精神科医ウイリアム・グラッサーが提唱した、人間の行動のメカニズムを体系化した心理学です。従来の心理学では、「人間の行動は外部からの刺激に対する反応である」と考えられてきました。一方、選択理論では「すべての行動は自らの選択である」と考えます。

※「選択理論」はアチーブメント株式会社、NPO法人日本リアリティセラピー協会、ウィリアムグラッサー記念財団の登録商標です。

多くの人は、求めるものがあいまい

人が目標設定しない3つの理由

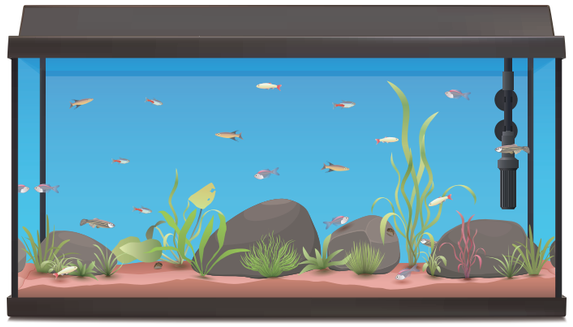
1. 気づきの機会の不足
2. 情報の不足
3. 消極思考

だからこそ、
人の行動のメカニズムを理解し
「主体的」に動きたくなる
組織づくりをすることが
カギとなります。

究極の仕組みは人が育つ文化づくり

「水槽理論」という考え方があります。

水・水質 …… 企業文化・風土
成　　分 …… 企業理念・価値観
　魚　　…… 社員一人ひとり
水　　槽 …… 経営の仕組み



「目的目標を持つことが当たり前の水質」
「人が育つ水質」

この水槽に魚を入れれば、
魚はどんどん、育ちます。

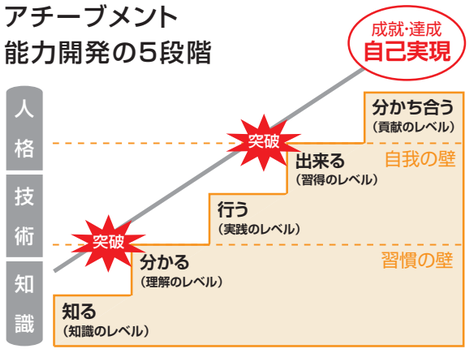
組織の水質をつくるもの

組織の水質をつくるのは、
「経営者」「幹部」「社員」一人ひとりの
発言や態度、行動です。

つまり、一人ひとりの自己変革が、
組織の水質を変えていきます。
水質が変わるには、時間がかかります。

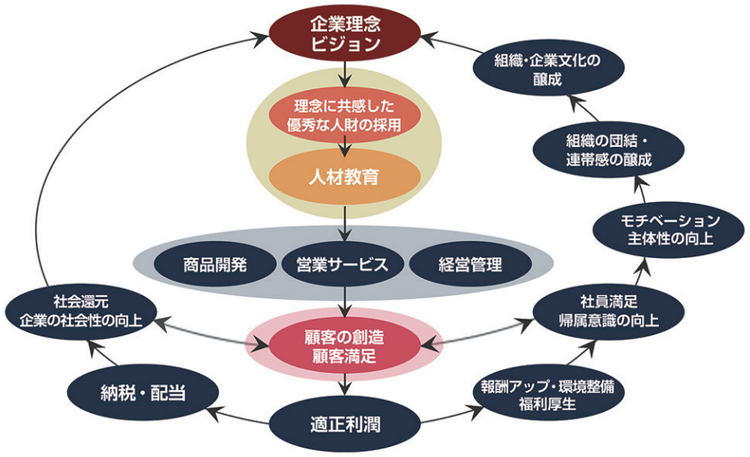
個人の自己変革



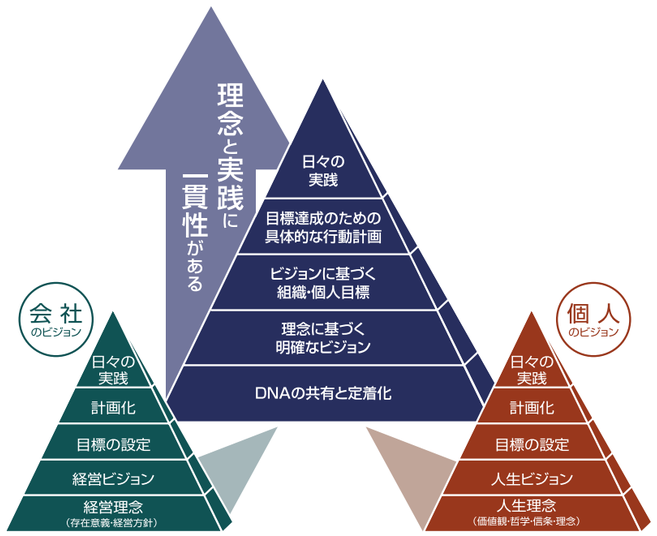


組織の水質改善

組織の明確なビジョン・指針を示す

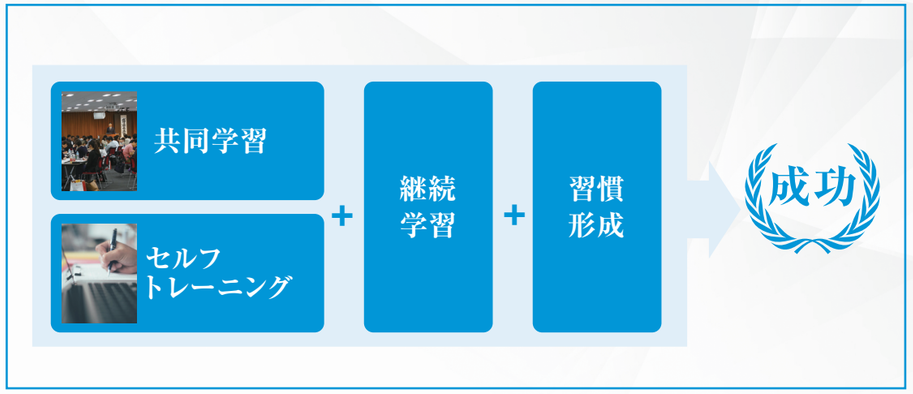


経営者は、会社の旗振り役です。
理念経営を実現するための第一歩は、
会社の存在目的（＝理念）と目指す先（＝ビジョン）に、
経営者自身が誰よりも確信を持ち、それを明確に社員に示すことが求められます。



サービスラインナップ

学習のメカニズム



1 共同学習+セルフトレーニングで、自らの基準を高め続ける

『頂点への道®』講座シリーズ

講座（共同学習）

『頂点への道』®シリーズ



基礎講座

お申し込み

アチーブメントテクノロジーコース

※青木仁志が講師を務める、経営者・事業承継予定者の方を対象とした「アチーブメントテクノロジーコース特別講座」の開講も不定期にございます。

プログラム学習開始
詳細は下記をご覧ください

プログラム学習継続

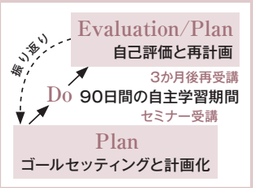
1st	2nd	3rd	4th	5th	6th → 自己実現
3か月後	6か月後	9か月後	12か月後	2年後	3年後
1回目再受講	2回目再受講	3回目再受講	4回目再受講	5回目再受講	6回目再受講



自己の厳格な基準をつくる
自己統制能力を開発する

目標達成の習慣化をサポートする
3年間で6回の「再受講システム」

一流の成果を出すために必要なのは、達成の原理原則を学び、体得することです。初受講に加え、3年で6回の再受講を繰り返すことで、一度だけでは理解が難しいノウハウを、成果を出せるまで学び続けることが可能です。



プログラム

プログラム学習

技術体得のためのセルフトレーニング

アチーブメントテクノロジーマスタープログラム

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6	STEP 7	STEP 8	STEP 9	STEP 10	STEP 11	STEP 12	STEP 13	アチーブメントテクノロジーコース 初受講	STEP 1	STEP 2

1週間

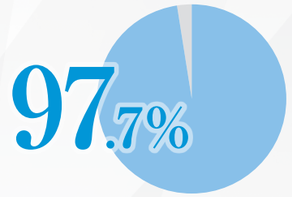
13週間91日間（3か月）

1回目再受講に向けて2回目のプログラム学習

戦略的目標達成プログラム『頂点への道』講座
ご受講後の変化

筑波大学アスレチックデパートメントとのパートナーシッププロジェクト※1により『頂点への道』講座シリーズの受講をとおして「行動が変わる」「業績が上がる」「人間関係が良くなる」といった変化が表れることが確認されました。

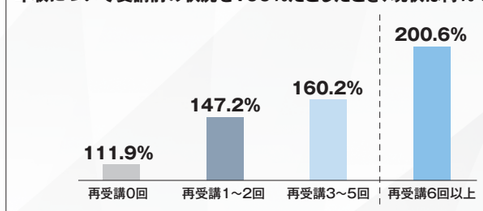
全体の97.7%が「行動が変わった」



『頂点への道』講座シリーズの受講をとおして
97.7%の方が、**行動が変化したと回答されました。**

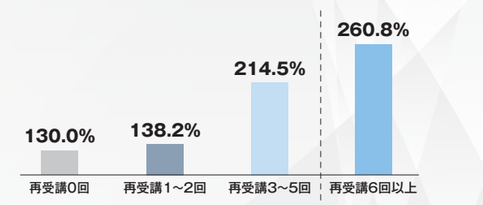
アチーブメントテクノロジーコースの再受講回数が多いほど、年収・業績が向上

年収について受講前の状況を100%だとしたとき、現状は何%ですか



再受講をしていない方は、受講前の年収を100%としたとき、平均で111.9%まで向上。
再受講を6回以上繰り返すと年収が平均で200.6%まで向上していることが分かりました。

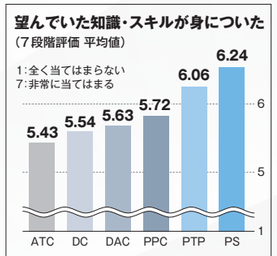
業績について受講前の状況を100%だとしたとき、現状は何%ですか



再受講をしていない方は、受講前の業績を100%としたとき、平均で130.0%まで向上。
再受講を6回以上繰り返すと業績が平均で260.8%まで向上していることが分かりました。

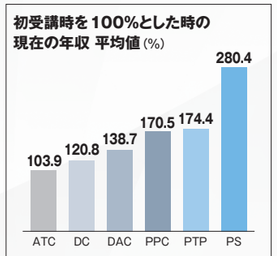
『頂点への道』講座シリーズの上位講座を修了した方ほど、知識・技術の習得、年収、業績が向上

望んでいた知識・スキルが身についた
（7段階評価 平均値）



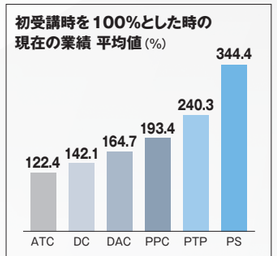
【受講をとおして自身が望んでいた知識やスキルを身につけることができましたか】7段階（1：全く当てはまらない～7：非常に当てはまる）評価に対して、修了した講座ごとの平均値

初受講時を100%とした時の現在の年収 平均値（%）



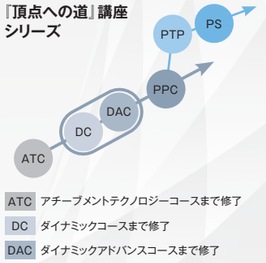
【年収について受講前の状況を100%だとしたとき現状は何%ですか】に対して、修了した講座ごとの平均値（%）

初受講時を100%とした時の現在の業績 平均値（%）



【業績について受講前の状況を100%だとしたとき現状は何%ですか】に対して、修了した講座ごとの平均値（%）

『頂点への道』講座シリーズ

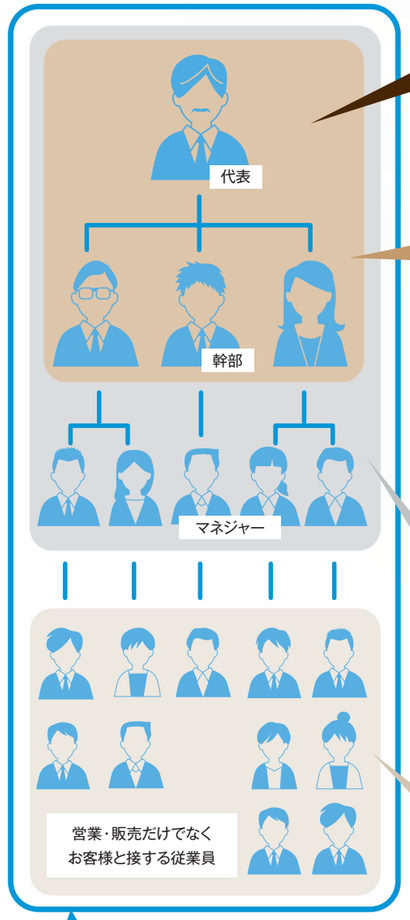


※1 調査概要　・調査実施日（回答可能期間）：2023年1月27日～2023年2月25日　・対象者：『頂点への道』講座アチーブメントテクノロジーコース受講済みの方
・調査方法：インターネットを介したアンケート形式　・有効回答数：1625

詳しくは、こちらをご覧ください　https://achievement.co.jp/project/tsukubaad-research/

1 共同学習+セルフトレーニングで、自らの基準を高め続ける

オンライントレーニングプログラムラインナップ（セルフトレーニングを支援する）



高業績と良好な人間関係を両立する「人軸経営」を学び、デザインする

クオリティカンパニー デザインプログラム



中小企業経営者のための幹部とともに学ぶ　法人パッケージあり

理念浸透プログラム



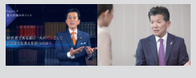
社員の成長・自己実現が、企業の発展につながる　法人パッケージあり

『人が育つ仕組み』のつくり方
人事制度の設計と運用 ―基礎編―



具体的なケーススタディからマネジメントを学ぶ　法人パッケージあり

ボース・ウィン・マネジメント・プログラム
～ケーススタディ・マスター編～



営業組織のマネジメント力・採用力が高められる　法人パッケージあり

プロフェッショナル・セールス・マネジャー・プログラム



組織の販売力を高め売上向上を目指す　法人パッケージあり

アチーブメント・セールス・スキルアップ・プログラム





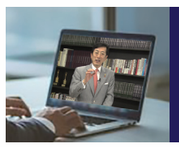
『目標達成の技術』を
13ステップで体得する

アチーブメントテクノロジー マスタープログラム

職場で幹部やメンバーと活用する
「法人パッケージ」

クオリティカンパニー倶楽部の
スターター会員・スタンダード会員の方向け

【法人パッケージ内容】
■書き込み式テキスト
・ボース・ウィン・マネジメント・プログラム：6冊
・プロフェッショナル・セールス・マネジャー・プログラム：6冊
・アチーブメント・セールス・スキルアップ・プログラム：11冊
・理念浸透プログラム：4冊



オンライントレーニングプログラムの活用にはアカデミー会員への入会が必要です

アチーブメントアカデミー会員の詳細はこちら

クラブ会員からアカデミー会員への切り替えはこちら

2 志高い経営者仲間と理念経営を学び実践する

クオリティカンパニー実践塾

―高業績と良好な人間関係が両立する組織をつくる半年間―





どうすれば、社員がイキイキと仕事に取り組み
社員の成長・自己実現が組織の発展につながる組織を
つくることができるのか？
高業績と良好な人間関係を両立する経営の
判断基準を磨き、実践にフォーカスする180日

講義内容

第１回　経営のデザインを描く
第２回　幹部を育成する
第３回　文化をつくる
第４回　営業・マーケティングの仕組みをつくる
第５回　採用の仕組みをつくる
第６回　人が育つ仕組みをつくる

特　長

1. インプットとアウトプットを積み重ねる学習システム

2. 共同学習で学びを最大化する「経営実践会議」　経営実践会議では、チームに分かれて１社ごとにクオリティカンパニー実現に向けた効果的な施策をディスカッションし合います。

3. クオリティカンパニー倶楽部での継続学習　クオリティカンパニー実践塾第１回目へのご参加と同時に、クオリティカンパニー倶楽部「エントリー会員」へ自動入会（永久会員）。

クオリティカンパニー倶楽部

スタンダード会員　スターター会員

志高き経営者仲間とともに、会員限定セミナー等の受講で学びを深めます。

特典例







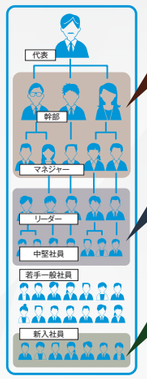
3 幹部を巻き込み通訳者をつくる

幹部向け活用例

『頂点への道』講座で幹部自身のピラミッドを明確化



クオリティカンパニー倶楽部 階層別社員育成プログラムで幹部力強化



幹部講座

会社を支える
幹部の心構えを、
佐藤英郎が直伝

リーダー講座

徳とすの両方を兼ね備えた
率先垂範の
リーダーを目指す

新入社員講座

「育つ責任を果たす」
自立型人財への
一歩を踏み出す

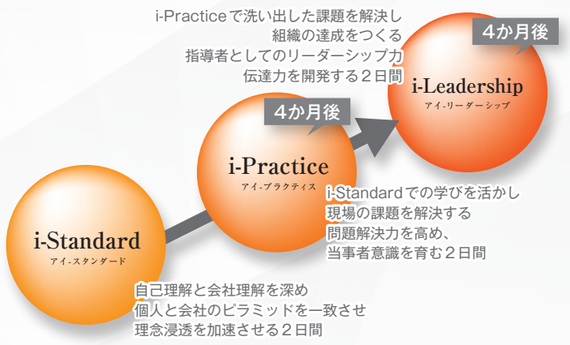
理念浸透プログラムを活用して幹部を巻き込み、未来を描く

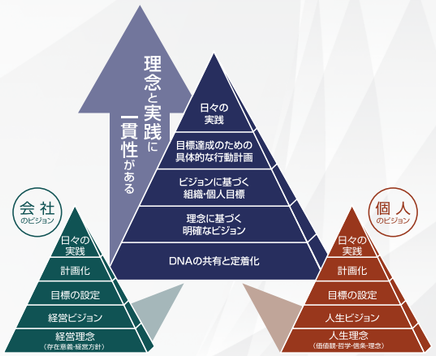


中小企業経営者のための
幹部と共に学ぶ
理念浸透プログラム

4 企業文化を醸成する~人が育つ組織づくり~

組織変革「iシリーズ」





カスタマイズ研修

理念への共感を成果につなげていくためにはスキルが必要です。御社のニーズに合わせてカスタマイズした研修プログラムを企画・実施します。

プログラム例		
	マネジメント研修	セールス研修
	チームビルディング研修	リーダーシップ研修

会社概要

【社　　名】	アチーブメント株式会社
【役　　員】	代表取締役会長 兼 社長　青木　仁志
	相　談　役　佐藤　英郎
	取　締　役　橋本　拓也
	取　締　役　髙橋　優也
	取締役（社外）　中村　博行
	監　査　役　奥村　眞吾（税理士）
	執 行 役 員　村田　泉
【アドバイザリーボード】	特 別 顧 問　カーリーン・グラッサー（William Glasser Inc　CEO）
	特 別 顧 問　柿谷　正期（元 立正大学心理学部教授）
	終身名誉顧問　ロバート・ウォボルディング（米国ゼービア大学元教授、教育学博士）
	終身名誉顧問　ロン・カールトン（米国ウイリアムグラッサー協会 シニアインストラクター）
	顧　　問　大谷　庸二（弁護士）
	顧　　問　木俣　佳丈（ミッションコネクト代表、元参議院議員 経済産業委員長）
	顧　　問　川村　秀憲（北海道大学 情報科学研究院 教授）
	顧　　問　尾花　高夫（元プロ野球指導者・選択理論心理士）
【本　　社】	〒135-0063　東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー19階 TEL：03-6858-0311（代表）　FAX：03-6858-3781（代表）
【大 阪 支 社】	〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町2-3-10 瓦町中央ビル３階 TEL：06-6226-9011　FAX：06-6226-9012
【福 岡 支 社】	〒812-0011　福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-8 ダヴィンチ博多シティ４階 TEL：092-481-1155　FAX：092-481-1166
【名古屋支社】	〒460-0008　愛知県名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル１階 TEL：052-249-3256　FAX：052-249-3257
【横 浜 支 社】	〒231-0033　神奈川県横浜市中区長者町5-85 三共横浜ビル９階 TEL：045-341-0631　FAX：045-341-0632
【熊 本 支 店】	〒860-0804　熊本県熊本市中央区辛島町6-7 いちご熊本ビル６階 TEL：096-352-5855　FAX：096-352-5858
【設　　立】	1987年10月
【資　本　金】	5,000万円
【従 業 員 数】	277名（グループ連結従業員数・2025年4月時点）
【事 業 内 容】	〈個人のお客様事業〉人材教育コンサルティング事業／ユースキャリア支援事業 〈法人のお客様事業〉組織変革コンサルティング事業 〈関連事業〉出版事業、人材紹介事業（職業紹介事業 許可番号 13-ユ-050177）
【加 盟 団 体】	特定非営利活動法人 日本リアリティセラピー協会（NPO） 日本選択理論心理学会 東京商工会議所 一般社団法人 日本経済団体連合会　他
【関 係 会 社】	日本テレビ放送網株式会社 アチーブメント出版株式会社 アチーブメントHRソリューションズ株式会社
【関 連 団 体】	一般財団法人 日本プロスピーカー協会（JPSA） 一般財団法人 ウィリアムグラッサー記念財団 一般社団法人 日本ビジネス選択理論能力検定協会

アチーブメント株式会社

2025.04